

2021年3月期  
第1四半期決算説明資料



物流から価値を。

三井倉庫グループ

2020年8月7日



- 説明資料内容
  - ▶ 2021年3月期第1四半期 決算内容
    - 2021年3月期 決算見通し
    - 参考資料



# (1) 決算概要

(単位：百万円)

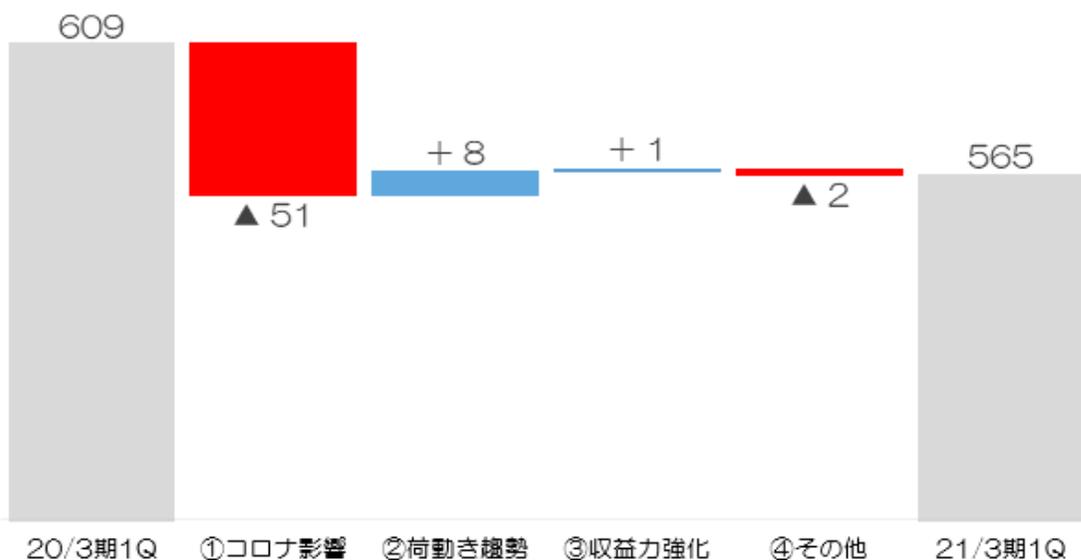
連結合計		20/3期1Q	21/3期1Q	増減額	増減率
P L	営業収益	60,974	56,517	△4,456	△7.3%
	営業利益	3,363	3,207	△156	△4.7%
	経常利益	3,304	3,340	+35	+1.1%
	親会社株主に帰属 する当期純利益	1,830	2,035	+204	+11.2%
C F	営業CF	3,638	2,548	△1,090	△30.0%
	投資CF	△1,307	△1,263	+43	—
	財務CF	△3,947	△3,695	+252	—
連結合計		20/3期末	21/3期1Q末	増減額	増減率
B S	自己資本	49,705	52,812	+3,106	+6.3%
	総資産	239,309	239,866	+556	+0.2%
	自己資本比率	20.8%	22.0%	+1.2	—



## (2) 営業収益（前年同期比）

- 顧客企業が生産活動を回復させる動きの中で原材料や部品等の調達に伴う緊急性の高い輸送業務の発生や、家電関連物流やネット通販業務等の需要増はあったものの、全体としてはコロナ影響により取扱は前期比44億円減少の565億円となった。

(単位：億円)



### ①新型コロナウイルス感染症による影響

- ↓：海上FWD業務取扱減 : ▲26
- ↓：電子部品・半導体等 航空貨物取扱減 : ▲16
- ↓：家電メーカー関連物流取扱減 : ▲13
- ↓：コンテナターミナル業務取扱減 : ▲5
- ↑：顧客企業が生産を回復させる動きの中で原材料・部品等の調達に伴う緊急性の高い輸送業務が発生 : +9

### ②荷動き趨勢等

- ↑：TV等の家電関連物流 取扱増 : +6
- ↑：欧州倉庫事業のネット通販関連業務 取扱増 : +3
- ↑：医薬品物流 前期立上業務の当期寄与 : +3
- ↓：自動車関連プロジェクト輸送減 : ▲4

### ③前期取組の収益力強化施策 通期寄与

- ↑：適正料金収受 : + 1

### ④その他

- ↓：テナント入替に伴う賃料収入減 : ▲ 2

(単位：百万円)

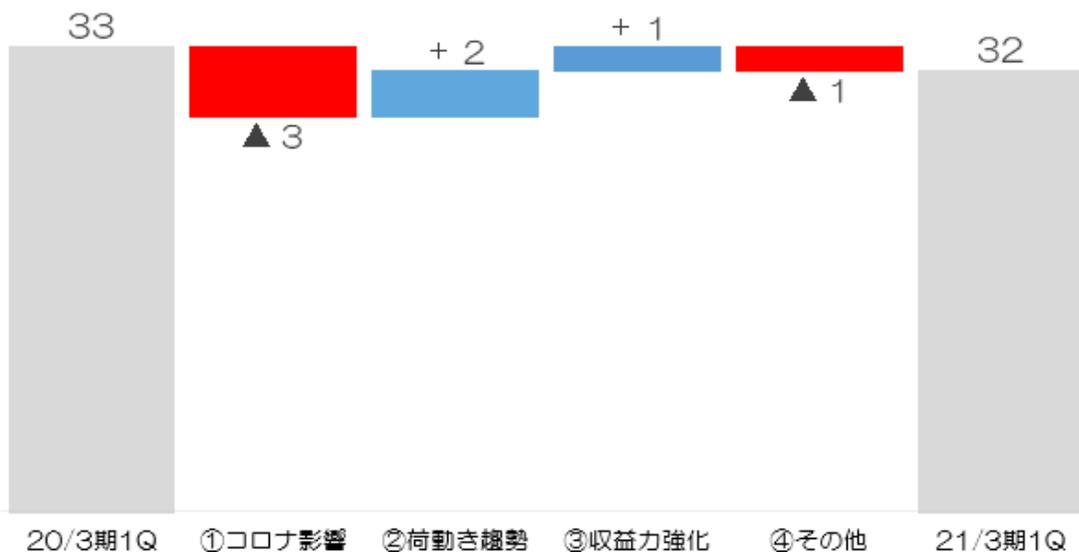
事業セグメント	20/3期1Q	21/3期1Q	増減額	増減率
物流事業	58,765	54,502	△4,262	△7.3%
不動産事業	2,392	2,189	△203	△8.5%
全社・消去	△184	△173	+10	—
営業収益合計	60,974	56,517	△4,456	△7.3%



# (3) 営業利益（前年同期比）

- 新型コロナウイルスによる影響はあったものの、企業の生産活動回復に伴う緊急性の高い輸送業務や、ネット通販業務等の需要増、外出制限等の影響による各種販管費の減少等により、全体では前期比ほぼ横ばいの32億円となった。

(単位：億円)



## ①新型コロナウイルス感染症による影響

- ↓：海上FWD業務取扱減 : ▲2
- ↓：電子部品・半導体等 航空貨物取扱減 : ▲3
- ↓：家電メーカー関連物流取扱減 : ▲1
- ↓：コンテナターミナル業務取扱減 : ▲2
- ↑：顧客企業が生産を急回復させる動きの中で、原材料・部品等の調達に伴う緊急性の高い輸送業務が発生 : +3
- ↑：システム開発費用の減少 : +1
- ↑：各種販管費等の減少 : +1

## ②荷動き趨勢等

- ↑：TV等の家電関連物流 取扱増 : +1
- ↑：欧州倉庫事業のネット通販関連業務 取扱増 : +2
- ↑：医薬品物流 前期立上業務の当期寄与 : +1
- ↓：自動車関連プロジェクト輸送減 : ▲2

## ③前期取組の収益力強化施策 通期寄与

- ↑：適正料金収受 : +1

## ④その他

- ↓：テナント入替に伴う賃料収入減 : ▲1

(単位：百万円)

事業セグメント	20/3期1Q	21/3期1Q	増減額	増減率
物流事業	2,743	2,657	△86	△3.2%
不動産事業	1,398	1,251	△146	△10.5%
全社・消去	△778	△701	+76	—
営業利益合計	3,363	3,207	△156	△4.7%



## (4) 営業外損益・特別損益（前年同期比）

- 有利子負債の圧縮に伴う支払利息の減少等による金融収支の改善により、経常利益は前期比微増の33億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比+2億円増益の20億円

（単位：百万円）

連結合計	20/3期1Q	21/3期1Q	増減額	主な増減内容
営業利益	3,363	3,207	△156	
営業外損益	△58	133	+191	金融収支の改善 : +72 為替差損益の改善等 : +119
（内金融収支	△40	31	+72	内 有利子負債圧縮による金利収支改善+45
経常利益	3,304	3,340	+35	営業利益減 : ▲156 営業外損益改善 : +191
特別利益	—	—	—	
特別損失	28	—	△28	前期固定資産除却損 : ▲28
親会社株主に帰属する当期純利益	1,830	2,035	+204	経常利益の増加



## (5) キャッシュフロー及びバランスシート状況

- 前期より引き続き不要不急の投資を抑制し、フリーキャッシュフロー（営業CF 25億円-投資CF 12億円=13億円）は有利子負債の削減に充当。

(単位：百万円)

連結合計	20/3期1Q	21/3期1Q	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	3,638	2,548	△1,090	△30.0%
（減価償却費・のれん償却額	2,276	2,428	+152	+6.7%
投資キャッシュフロー	△1,307	△1,263	+43	—
（設備投資・株式取得	△1,451	△1,338	+113	—
財務キャッシュフロー	△3,947	△3,695	+252	—

連結合計	20/3期末	21/3期1Q末	増減額	増減率
現金及び預金	21,872	19,476	△2,396	△11.0%
有利子負債残高	127,101	124,816	△2,284	△1.8%
ネットデット	105,228	105,340	+111	+0.1%
自己資本	49,705	52,812	+3,106	+6.3%
総資産	239,309	239,866	+556	+0.2%
自己資本比率	20.8%	22.0%	+1.2	—
ネットD/Eレシオ	2.1	2.0	△0.1	—



- 説明資料内容
  - 2021年3月期第1四半期 決算内容
  - ▶ 2021年3月期 決算見通し
  - 参考資料



# (1) 2021年3月期決算見通し概要

- 新型コロナウイルスの影響による取扱減少が想定を下回ったことなどから上期業績見通しを修正
- 20年9月末まで継続し以降収束に向かうものと見込んでいた同影響について、21年3月末まで継続するものと見通しを改めたことから、下期において取扱いの減少を見込み通期業績見通しを修正

(単位：百万円)

連結合計		21/3期 上期	前回予想比	21/3期 下期	前回予想比	21/3期 通期	前回予想比
P L	営業収益	112,000	+12,000	112,000	△8,000	224,000	+4,000
	営業利益	5,700	+3,000	5,000	△800	10,700	+2,200
	経常利益	5,600	+3,100	4,400	△1,000	10,000	+2,100
	親会社株主に帰属 する当期純利益	3,200	+1,700	2,000	△1,300	5,200	+400
C F	営業CF	7,500	—	8,000	—	15,500	+2,000
	投資CF	△4,000	—	△6,000	—	△10,000	+500
	財務CF	△4,000	—	△2,500	—	△6,500	△2,500
連結合計		21/3期 上期末				21/3期末	前回予想比
B S	自己資本	53,900				55,300	+1,800
	総資産	240,000				240,000	—
	自己資本比率	22.5%				23.0%	+0.7



### (3) セグメント別営業収益・営業利益見通し

#### 〔営業収益〕

(単位：百万円)

事業セグメント	21/3期 上期	前年同期比	21/3期 下期	前年同期比	21/3期 通期	前年同期比
物流事業	107,650	△11,546	107,350	△5,436	215,000	△16,982
不動産事業	4,600	△262	4,900	△71	9,500	△333
全社・消去	△250	+118	△250	+118	△500	+236
営業収益合計	112,000	△11,690	112,000	△5,390	224,000	△17,080

#### 〔営業利益〕

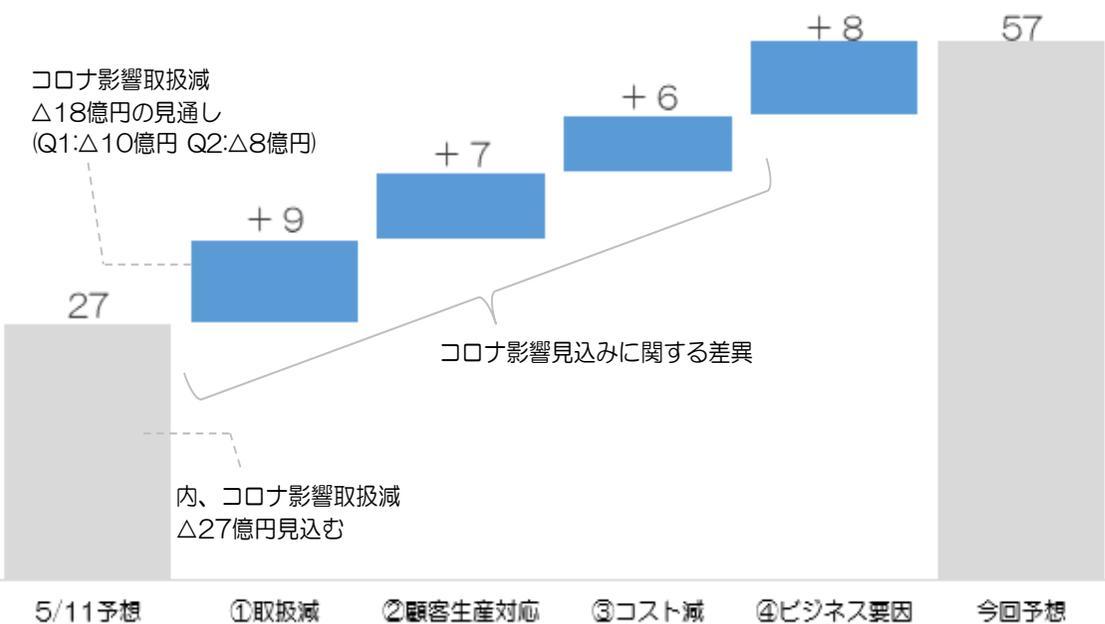
事業セグメント	21/3期 上期	前年同期比	21/3期 下期	前年同期比	21/3期 通期	前年同期比
物流事業	4,600	△1,172	3,700	+367	8,300	△805
不動産事業	2,700	△166	3,000	+1	5,700	△165
全社・消去	△1,600	△23	△1,700	△115	△3,300	△138
営業利益合計	5,700	△1,363	5,000	+255	10,700	△1,108



# (補足) 上期営業利益 当初業績予想と今回予想の差異要因

- 当初想定と比較し、コロナ影響による取扱減は想定を下回る。海外を中心に幅広い顧客において生産再開、稼働率向上の動きが見られ、これに伴い輸送業務が発生する等、プラス影響が生じたこともあり、当初の業績予想を大きく上回る見込み。

(単位：億円)



## ①取扱減に関する見込みと見通しとの差異

- ↑：自動車関連航空輸送取扱減の差異 (予想△8 見通し△4) : +4
- ↑：家電メーカー関連物流取扱減の差異 (予想△8 見通し△3) : +5
- ↑：欧米・東南アジアロックダウン影響による取扱減の差異 (予想△7 見通し△3) : +4
- ↓：家電量販店物流取扱減の差異 (予想△4 見通し△5) : △1
- ↓：国内通関業務等FWD業務の取扱減 (当初予想では見込まず) : △1
- ↓：コンテナターミナルにおける取扱減 (当初予想では見込まず) : △2

## ②顧客生産対応

- ↑：国内外顧客の生産活動再開、稼働率の回復に伴う原材料、部品の緊急輸送発生 : +7

## ③コスト減

- ↑：システム投資等に関する費用後ろ倒し : +2
- ↑：各種販管費等の減少 : +2
- ↑：その他 : +2

## ④ビジネス要因

- ↑：家電メーカー関連物流の取扱増 : +3
- ↑：自動車関連貨物プロジェクト輸送発生 : +2
- ↑：中国地域における取扱増 : +2
- ↑：その他 : +1

(単位：百万円)

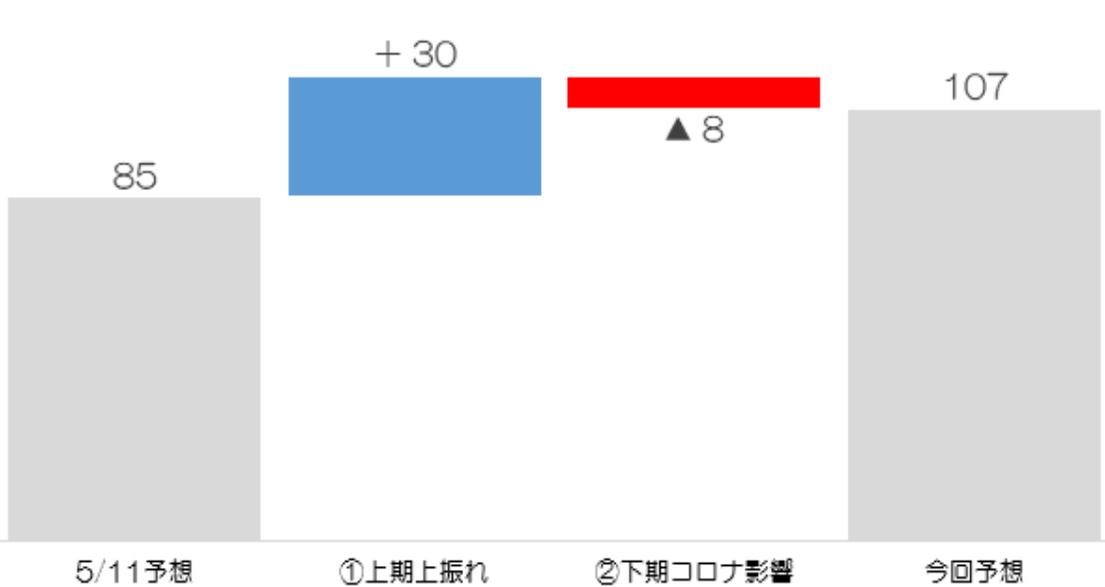
事業セグメント	5/11予想	今回予想	増減	増減率
物流事業	1,800	4,600	+2,800	+155.6%
不動産事業	2,700	2,700	—	—
全社・消去	△1,800	△1,600	+200	△11.1%
営業利益合計	2,700	5,700	+3,000	+111.1%



# (補足) 通期営業利益 当初業績予想と今回予想の差異要因

- 当初予想におけるコロナ影響の前提「9月末まで影響が続き、10月以降収束」を見直し。足元の状況を踏まえ、21年3月期中はコロナ影響が続くものと想定。当初予想では見込んでいなかった下期におけるコロナ影響による取扱減を織り込む。

(単位：億円)



### ①上期上振れ

↑：P10記載の要因による上期営業利益上振れ : +30

### ②下期におけるコロナ影響による取扱減

↓：国内通関業務等FWD業務の取扱減 : Δ2

↓：コンテナターミナルにおける取扱減 : Δ2

↓：メーカー物流取扱減 : Δ4

(単位：百万円)

事業セグメント	5/11予想	今回予想	増減	増減率
物流事業	6,300	8,300	+2,000	+31.7%
不動産事業	5,700	5,700	—	—
全社・消去	Δ3,500	Δ3,300	+200	Δ5.7%
営業利益合計	8,500	10,700	+2,200	+25.9%



## (4) 通期営業外損益・特別損益見通し

- ・ 経常利益は上期56億円・通期100億円、特別損益に大きく見込まれるものはなく、親会社株主に帰属する当期純利益は上期32億円・通期52億円を見込む。

(単位：百万円)

連結合計	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期比	20/3期 通期	21/3期 通期	前年同期比
営業利益	7,063	5,700	△1,363	11,808	10,700	△1,108
営業外損益	△493	△100	+393	△1,277	△700	+577
( 内金融収支	△209	△200	+9	△522	△500	+22)
経常利益	6,569	5,600	△969	10,531	10,000	△531
特別利益	—	—	—	807	—	△807
特別損失	119	—	△119	365	—	△365
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,500	3,200	△300	6,395	5,200	△1,195



# (5) 通期キャッシュフロー及びバランスシート見通し

- 投資CFは医薬品専用の新設倉庫である関東P&Mセンター2の建設資金の支払い等の発生により、前期比45億円支出増の100億円のキャッシュアウトを見込む。
- 上記の投資のほかは有利子負債の返済を進め、21年3月末の有利子負債残高は1,225億円、自己資本は553億円を見込み、ネットDERは1.8となり中計目標値を達成の見込み。

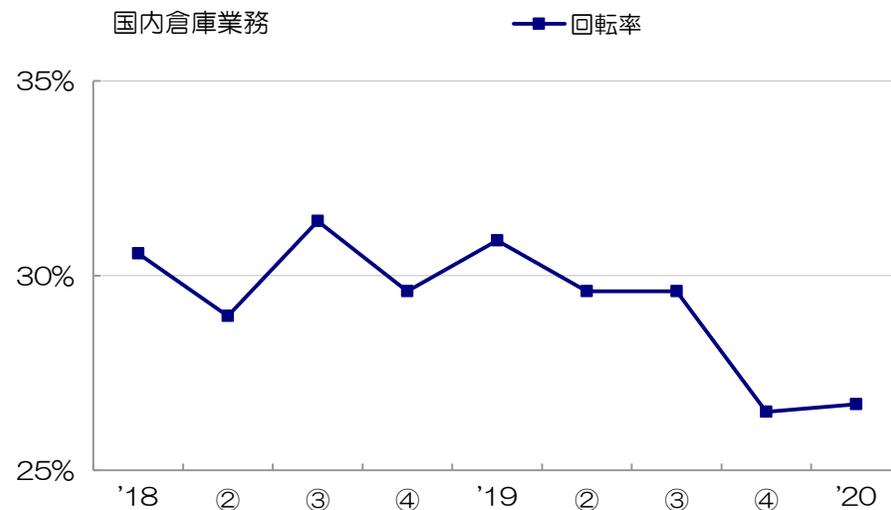
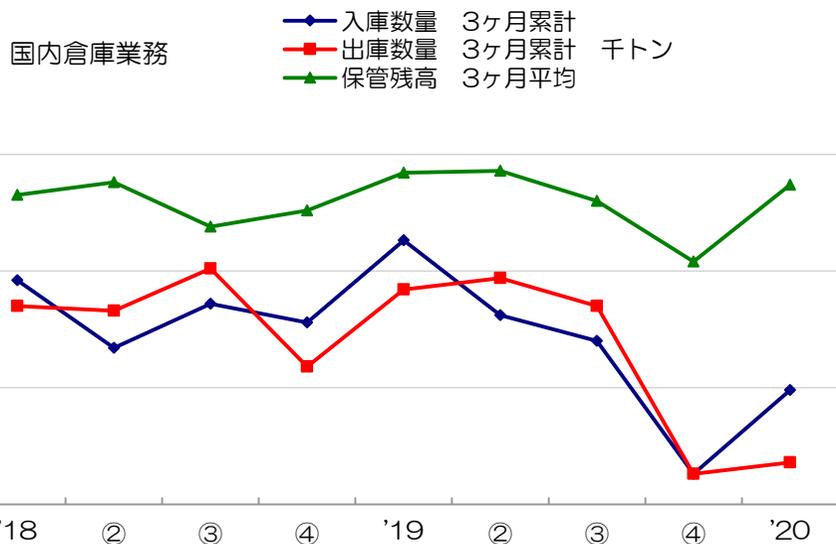
(単位：百万円)

連結合計	20/3期 上期	20/3期 通期	21/3期 上期	前年同期比	21/3期 通期	前年同期比
営業キャッシュフロー	6,827	21,112	7,500	+672	15,500	△5,612
（減価償却費・のれん償却額）	4,566	9,444	4,500	△66	10,000	+555
投資キャッシュフロー	△2,333	△5,487	△4,000	△1,666	△10,000	△4,512
財務キャッシュフロー	△2,362	△16,746	△4,000	△1,637	△6,500	+10,246

連結合計	20/3期末	21/3期 上期末	前期末比	21/3期末	前期末比
現金及び預金	21,872	21,000	△872	21,000	△872
有利子負債残高	127,101	124,000	△3,101	122,500	△4,601
ネットデット	105,228	103,000	△2,228	101,500	△3,728
自己資本	49,705	53,900	+4,194	55,300	+5,594
総資産	239,309	240,000	+690	240,000	+690
自己資本比率	20.8%	22.5%	+1.7	23.0%	+2.3
ネットD/Eレシオ	2.1	1.9	△0.2	1.8	△0.3



- 説明資料内容
  - 2021年3月期第1四半期 決算内容
  - 2021年3月期 決算見通し
- ▶ 参考資料

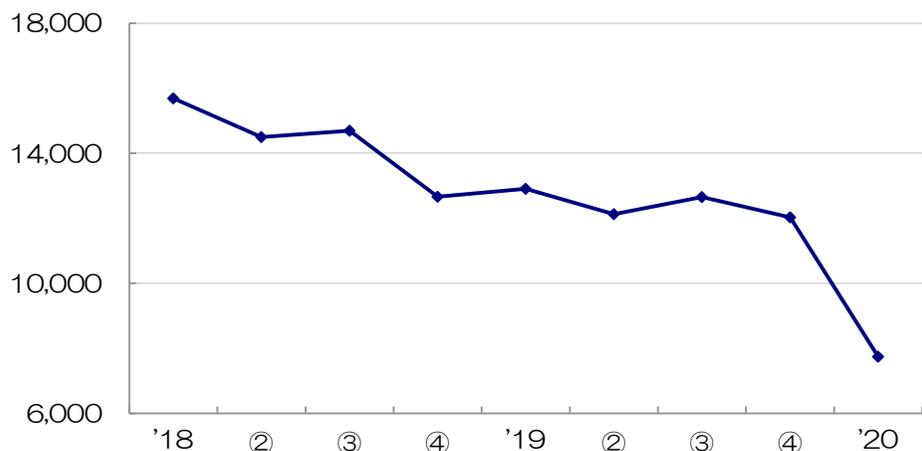


陸上貨物運送 貸切輸送 (千トンキロ)

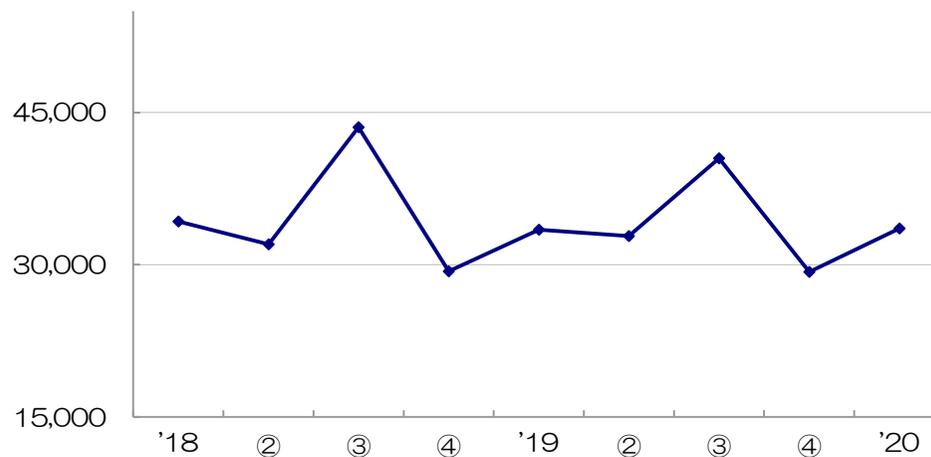




航空貨物輸送 輸出入 トン数



3PL 取扱数量 千個



物流事業地域別売上高

■日本 ■米州 ■欧州 ■東南アジア ■北東アジア

